



かみさと 議会 だより

- ◇9月定例会の審議状況 ……P 2
- ◇令和5年度決算審査報告等 ……P 4
- ◇9月定例会一般質問に8人 ……P 6
- ◇研修会、委員会レポート ……P14
- ◇委員会レポート ……P15
- ◇12月定例会会期日程等 ……P16



【上里ハーモニカ教室】

毎週水曜日の9：30～11：30に上里東公民館で活動中。

平成16年4月1日より活動を開始し、今年度で20周年を迎えます。

練習では両手に花のジョークの好きな横尾代表を中心に、みんなで楽しく演奏しています。年1回の美里町の遺跡の森での児玉郡市発表会やワープ上里での発表会、サロン等に出張して演奏しています。

105

横尾 敦 氏 (代表)	五味 典子 氏	高橋 三子 氏	戸塚 安子 氏
小瀬川 照子 氏	斉藤 豊子 氏	高林 美江子 氏	
小林 節子 氏	関根 洋栄 氏	田中 観鶴子 氏	





第5回9月定例会は9月4日に開会され、議員8名の一般質問と町長提出議案等17件を審議して10月3日に閉会しました。

◆ 条 例 ◆

上里町国民健康保険条例の一部を改正する条例

要旨 国民健康保険被保険者証の廃止に伴う改正を行うものです。

上里町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

要旨 特定家庭用機器再商品化法の対象品目の追加に伴う改正を行うものです。

◆ 契 約 ◆

工事請負契約の締結（議案第39号）

要旨 （仮称）上里町保健センター等複合施設建設工事の請負契約を締結するものです。
・ 契約金額 12億2628万円
・ 契約業者 横尾建設(株)
・ 契約方法 一般競争入札

工事請負契約の締結（議案第40号）

要旨 町営四ツ谷団地浄化槽等改修工事の請負契約を締結するものです。

・ 契約金額 6149万円
・ 契約業者 (株)高橋設備
・ 契約方法 一般競争入札

工事請負契約の締結（議案第46号）

要旨 令和6年度神流リバーサイドロード築造工事の工事請負契約を締結するものです。

・ 契約金額 5911万700円
・ 契約業者 (株)平成
・ 契約方法 一般競争入札

物品購入契約の締結について（追認）（議案第49号）

・ 契約目的 平成26年度の小学校5校分の教師用図書の購入
・ 契約金額 741万1352円
・ 契約業者 (有)清野書店
・ 契約方法 随意契約

物品購入契約の締結について（追認）（議案第50号）

・ 契約目的 平成28年度購入の情報システム強靱化に伴うネットワーク分離機器等
・ 契約金額 739万8千円
・ 契約業者 (株)ジーシー
・ 埼玉支店
・ 契約方法 指名競争入札

物品購入契約の締結について（追認）（議案第51号）

・ 契約目的 令和2年度の小学校5校分の教師用図書の購入
・ 契約金額 1077万1970円
・ 契約業者 (有)清野書店
・ 契約方法 随意契約

物品購入契約の締結について（追認）（議案第52号）

・ 契約目的 令和2年度購入の高齢者向け新生活様式対応グッズ支給事業に係る物品購入
・ 契約金額 732万2648円
・ 契約業者 ウエルシア薬局(株)

物品購入契約の締結について（追認）（議案第53号）

・ 契約目的 令和2年度購入の高齢者向け新生活様式対応グッズ支給事業に係る物品購入
・ 契約金額 831万6910円
・ 契約業者 (株)クスのマルエ
・ 契約方法 随意契約

物品購入契約の締結について（追認）（議案第54号）

・ 契約目的 令和2年度購入の災害対策用間仕切り（ワンタッチ式）及び専用屋根の購入
・ 契約金額 1812万3600円
・ 契約業者 (株)サイボウ
・ 契約方法 随意契約

物品購入契約の締結について（追認）（議案第55号）

・ 契約目的 令和6年度の小学校5校分の教師用図書（前期分）の購入
・ 契約金額 1692万8175円
・ 契約業者 (有)清野書店
・ 契約方法 随意契約

◆その他◆

埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更

要旨 後期高齢者医療被保険者証の廃止に伴う事務処理の変更のための改正を行うものです。

本庄地域定住自立圏の形成に関する協定の変更

要旨 新たな施策の追加及び項目の一部修正等の変更に伴う改正を行うものです。

◆令和6年度補正予算◆

上里町一般会計補正予算(第3号)

概要 歳入歳出それぞれ4億2764万9千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ115億3879万8千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・給与費 2259万3千円
- ・教育施設整備基金積立金 1億1900万円
- ・児童手当支給事業 6584万4千円

上里町一般会計補正予算(第4号)

概要 歳入歳出それぞれ1274万9千円を追加し、予算総額を歳入歳出それぞれ115億5154万7千円とするものです。主な歳出の補正内容は次のとおりです。

- ・総合文化センター運営事業 548万9千円
- ・神保原児童館運営事業 726万円

国民健康保険特別会計、介護保険特別会計の補正予算も提出され、原案のとおり可決されました。

◆人 事◆

人権擁護委員の推薦につき意見を求めること(諮問)

要旨 現委員の任期満了により、後任者を推薦することにより、意見を求めるものです。

教育委員会委員の任命

要旨 現委員の任期満了により、後任者の任命を提案するものです。

第5回9月定例会 議案に対する各議員の賛否

議 案 名		石井慎也	伊藤 寛	金子義則	戸矢隆光	高橋勝利	飯塚賢治	猪岡 壽	齊藤 崇	植原育雄	高橋正行	新井 實	沓澤幸子	高橋 仁	議 長	結 果
議案第37号	上里町国民健康保険条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	議 長	可決
議案第38号	上里町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議案第39号	工事請負契約の締結	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○		可決
議案第40号	工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議案第46号	工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議案第49号	物品購入契約の締結について(追認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議案第50号	物品購入契約の締結について(追認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議案第51号	物品購入契約の締結について(追認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議案第52号	物品購入契約の締結について(追認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議案第53号	物品購入契約の締結について(追認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議案第54号	物品購入契約の締結について(追認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議案第55号	物品購入契約の締結について(追認)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
議案第41号	埼玉県後期高齢者医療広域連合規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		可決
議案第42号	本庄地域定住自立圏の形成に関する協定の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
令和6年度	議案第43号	上里町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	議案第48号	上里町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	議案第44号	上里町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
	議案第45号	上里町介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		可決
諮問第1号		人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議 長	同意
議案第47号		教育委員会委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		同意
令和5年度	認定第1号	上里町一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		認定
	認定第2号	上里町国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		認定
	認定第3号	上里町介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		認定
	認定第4号	上里町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		認定
	認定第5号	上里町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		認定
	認定第6号	上里町水道事業剰余金の処分及び決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		認定
	認定第7号	上里町下水道事業決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		認定

※議長は議事進行を行うため、可否同数の場合のみ表決に参加します。

(○賛成 ×反対)

令和5年度決算に対する決算特別委員会の質疑事項(抜粋)

9月10日、議員12名で構成する決算特別委員会が設置され、各会計の決算内容の審査が付託されました。決算特別委員会では、9月12日から26日まで8日間に渡り、各課の関係職員の出席を求め、令和5年度決算に対する審査を実施いたしました。



旧コミュニティセンター解体工事について

問 現在、階段部分が残っているのは何故か。

答 階段の下に福祉町民センターで使用している浄化槽設備があるため残してある。

納税の利便性向上の取り組みについて

問 徴収事務費の口座振替、コンビニ納付、スマートフォン決済の1件当たりの手数料は。

答 口座振替は1件につき税込11円。コンビニ納付、スマートフォン決済は税込55円。

雑がみ回収の推進について

問 雑がみ回収で回収されたものはどこで処理しているのか。

答 永田紙業株式会社が回収し、その後リサイクルされている。

栄養改善推進事業補助金について

問 実際にどのような活動をされているのか。

答 食生活改善推進協議会会員が食を通した健康づくりを推進するため、毎月1回程度調理実習や勉強会を実施している。定例会では、ふれあいまつりで配布する健康食や親子料理教室のメニューの試作をするほか、埼玉県の事業（米普及など）を行っている。

神保原駅基礎調査・検討業務委託について

問 「神保原駅基礎調査・検討業務委託」は完成しているのか。

答 橋上化3案の図面が完成している。既存の自由通路を活用することが可能なかを今年度の業務にて調査している。調査結果を基に、1案に絞り、全員協議会等で説明する予定。

放課後子供学習教室について

問 上里っ子ジャンプ教室の他3校での開校予定は。

答 令和6年度は神保原小で新たに開校した。長幡小・賀美小については、講師を確保しながら今後開校する予定。

上里土地改良区の運営について

問 排水路管理作業の外部委託を考えたことはあるのか。

答 外部委託は有効的な手段だと思うが、全ての排水路の除草作業を実施した場合3000万円から4000万円かかる見積もりがでた。予算的に大変厳しいと思う。

郷土資料館運営事業について

問 消耗品の予算は特別展示に使用するため5万円となっているが不足はないか。

答 パネル等を自作して展示を行っている。職員で工夫しながら行っているが、負担にならないように、必要に応じて予算要求したいと考えている。

P F A S（有機フッ素化合物）について

問 全国的にも話題となったP F A S（有機フッ素化合物）について、上里町の水質検査はどうだったのか。

答 7月に検査を行った結果、水質管理目標設定項目の基準値未満だった。

老人クラブ賀寿祝について

問 参加率25%程度となっている。内容や周知活動はどのようにしているのか。

答 内容は該当者の名前の発表と代表者の方への表彰。お楽しみのイベント等となっている。周知方法は、老人クラブ会長より対象者の方へ声かけをしていただき周知している。

人材活用による支援について

問 会計年度任用職員の勤務時間を教えてほしい。

答			
フルタイム	1人		2%
7時間勤務	22人		44%
6時間勤務	4人		8%
5時間勤務	9人		18%
4時間勤務	7人		14%
3時間勤務	1人		2%
週15時間	6人		12%



現地確認(神流リバーサイドロード)

令和5年度 決算審査報告

10月3日の本会議において、決算特別委員会委員長より決算審査について報告されましたのでその一部を紹介します。なお、令和5年度の決算額等については、「広報かみさと11月号」に詳しく掲載していますので省略します。

決算特別委員会

委員長 石井慎也

総務課の審査では分限休職の方が5名おり、仕事の量や質、職員体制や人間関係に問題がなかったのか精査し、職場環境の改善に努めて頂きたい。また職員が不足している事態を会計年度任用職員で補っている状況なので、職員採用の年齢制限の見直しを行い、より多くの人材を受け入れる事が出来るように検討して頂きたい。

町民福祉課の自殺対策強化事業では上里町のホームページからアクセスできる簡易セルフメンタルチェックシステムである「こころの体温計」を導入しているが、より利用しやすくするためにホームページのトップ画面からサイトに入れるようにして頂きたい。

総合政策課の新規事業であるデジタルサイネージ導入事業はより多くの方に見て頂けるよう設置場所や内容の検討をして頂きたい。

保健センター等複合施設建設推進室においては備品や事業内容等を精査して頂き町民に喜んでもらえる施設になるよう努めて頂きたい。

くらし安全課では令和5年度中に初めて行った製品プラスチックの回収は良い取り組みなので引き続き実施して頂きたい。役場北側駐車場内に設置されているリサイクルステーションは多くの方が利用しているのでボックスがすぐいっぱいになってしまう。各公民館などにリサイクルステーションの整備を進め、いつでも回収出来るようにして頂きたい。

子育て共生課の長幡小学校放課後児童クラブ運営事業は業務委託により運営されているが、業務委託にすることで人件費削減以外のメリットがあれば議会にも提示し、慎重に事業を行って頂きたい。

税務課の審査では対象税目の拡大により地方税共通納税システムの取り扱い件数が大幅に伸び、反対にコンビニ納付やスマートフォン決済の件数が減ったと説明があり、支払い方法が多様化する事で役場窓口での現金納付が減少し、事務負担の軽減に繋がるのは良いことなので、現金納付の件数を減らしていけるよう地方税共通納税システム等の普及に努めて頂きたい。

健康保険課の相談事業では妊産婦・乳幼児等の様々な相談を電話や来所にて行っているとの事ですが、より気軽に相談して頂けるようLINE等のメッセージでやり取りが出来るよう検討して頂きたい。

まちづくり推進課は駅北まちづくり事業に数々の業務委託を行ってきたことについて整理し検証して頂きたい。上里ゴルフ場管理事業において地権者への意向調査を行い、数件ではあるが町が土地を購入できた事は評価できる。長期的な安定運営に土地購入は必要な事なので引き続き地権者との交渉にあたって頂きたい。

高齢者いきいき課の生活支援体制整備事業の地域支え合い活動においては、まだ活動組織が出来ていない3地区の立ち上げを進めて頂きたい。

産業振興課の土地改良事業では夏場に排水路管理作業を行っているが、地権者等の高齢化も進み年々参加者が減っており継続が厳しくなっている。持続可能な方法を検討して頂きたい。地域応援商品券発行事業を次回行う際には町民へ平等に支給出来るよう検討して頂きたい。

道路整備課では道路の維持補修は優先順位をよく考え計画的に進めて頂きたい。舗装をまとめて行うことで経費の削減になるようなら検討して頂きたい。

生涯学習課のスポーツ振興事業では上里町スポーツ少年団への補助金が増えているのは指導者登録補助ということで、団体の負担軽減を図ったことは評価できる。

上下水道課の水道事業では漏水調査業務委託を行い有収率が83%を超えた事は評価できる。下水道事業は毎年工事を行い整備面積の拡大をしているが、この先何年かかれば整備が完了するのか提示して頂きたい。収入を確保するためにも接続率を上げる取り組みを行って頂きたい。

教育総務課の上里町奨学資金貸付基金運用状況が変わらないので基金利用者の所得制限の撤廃を検討して頂きたい。

教育指導課の水泳指導業務委託では教職員の負担軽減になり、生徒からも好評だったようで実施できたことは評価できる。民間委託を行う学校が増えていくなかで、全ての生徒が授業を受けられるよう実施場所の確保に努めて頂きたい。





一般質問

戸矢 隆光

問 藤木戸・勝場線の工事の着手は

答 令和7年度着手、令和11年度完成予定

質問 1
上里音頭の普及について

問 納涼祭等に参加をしてみると、やはり一番良い音色を出しているのは上里音頭のメロディーであり、春は菜の花といった詩を見ても古い上里町の情景が目につかんてくる。

答 今のうちに上里音頭を後世に残すための普及拡大に大変有効ではないかと思いい、神保原駅の発車音に採用してみたら如何かと思うが、積極的に研究してみる価値があるのではないかと。

問 駅の発車メロディーに上里音頭を導入することについて、町への愛着を深めていただくきっかけにもなり、地域活性化の取組み手法の1つの有効なアイデアであると考えているが、JR東日本との協議や調整が必要であり、導入効果や費用対効果を先進事例等から検証しながら慎重に検討していきたい。

質問 2
町道藤木戸勝場線について

問 令和6年度当初予算においては、一部用地買収費が計上されており、今後、順調に用地買収が行われた場合、工事の着手は何年先になるのか。

答 用地買収をしながら令和7年度から工事着手、令和11年度に完成予定。長幡小学校南側、県道藤岡本庄線との丁字交差点には新しく信号機が設置され、長幡児童館南側に設置されている信号機は撤去となる予定である。

問 教育長 交差点付近の県道の用地買収も順調にいつていると聞いていて、信号機設置による右折帯もゆくゆくは出来るのではないかと考えるところであるが、教育委員会として小学校の通学道路の線形をどのように考えているのか教えてください。

答 教育長 今後、交差点に信号機が設置された場合には、学校側と協議し県道や町道の歩道を活用した通学路の検討をしていきたい。

質問 3
主要事業の検証について
(神保原駅北の高校誘致)

問 昨年の11月の全員協議会において、高校誘致について学校法人から町に対して進出ししない旨の文書が正式に届いたとの報告があった。令和2年6月に移転計画が出されてから3年5か月後の結論であった。一昨年の9月議会から数回質問をしてその都度順調に進んでいるとの回答をいただいたが、令和5年3月の全員協議会の中ではすでに令和3年3月に上里町移転計画の白紙の文書が出されておられ、指摘をされるまで否定をされた。

答 今回の検証についての必要性は、大型商業跡地が高校誘致の候補地になるまでに、候補地選定のプロジェクトチームを作ったり、町内の数千件にアンケートを行ったり、該当の土地を測量したりと相当な職員の労力や税金が費やされており、今後町が主要事業を手掛ける場合、このようなことが二度とあってはならない。

現在、駅北まちづくりの新しい冊子は令和5年に作成された神保原駅北まちづくり基本計画であるが、中心はまちなかふれあいゾーンである。

大型商業跡地は、都市構造再編集支援事業の活用により、教育機関や地域住民が交流できる活気のある施設とあるが、駅北のメイソとなりえる場所が、今現在空白状態にあるのではないかと。この問題は決して小さな問題ではなく、検証すべきではないかと。

答 この土地に対する今迄の取り組みが、将来の町の発展に寄与するものでなければならぬという考えに基づいていると認識している。

なお、庁内調整会議の設置や町民へのアンケート調査などは決して無駄なものではなく、特にアンケート調査は高校誘致に関する考えのみを伺うものではなく、神保原駅北まちづくりの全体的な意見を求めるもので、貴重な資料となっている。



一般質問

高橋 勝利

問 部活動地域移行の今後について

答 具体的方針が固まり次第説明する

1 部活動の段階的地域移行について

質問

問 平成31年1月の中教審答申では、新しい時代の持続可能な学校指導や運営体制構築のための学校における働き方改革に関する総合的方針が示され、教師の長時間労働の要因である部活動について学校や地域住民と意識の共有を図りながら、質の高い活動の機会を部活動の学校単位から地域単位に移行するとある。

今後、将来を見据えて地域との関わりについてどのように構築していくのか。

答 教育長 部活動の地域移行は、学校の部活動の指導を地域団体や関係事業に担ってもらう事で、地域の活動に位置付けることを目指している。少子化が進む中、生徒が継続してスポーツ・文化芸術活動を親しむことができる機会を確保するため、令和4年12月にスポーツ庁より、学校部活動及び新たな地域クラブ活動

の在り方等に関する総合的なガイドラインが提示された。

上里町では、スポーツ協会、スポーツ少年団を対象として、令和5年2月に中学校部活動地域移行に係る意見交換会を開催した。

問 教員の部活動の指導に對して給与関係及び業務に負担がかかっている事についてどのように対応しているのか。

答 教育長 給与に関しては、教育調整額のほかに、休日の部活動において3時間以上で2700円の教員特殊勤務手当が支払われている。

業務の負担については、上里町立中学校部活動方針において、原則平日は2時間、休日は3時間程度と定めている。また、会計年度任用職員として部活動支援員を各学校に配置している。そのため、令和5年度3月末において時間外在校時間45時間超の教員は9名と減少している。

2 まちづくりの実現に向けて

質問

問 まちづくり施策、まちづくり基本構想のソフト面・ハード面について。

神保原東町有志の活動は、活気のある町の再生に向けての思いが伝わってくる。七夕祭りの中で閉店した「和田山トイ」の再生に地域をあげて取り組んでいる。今後はちいさな駅前を旅するマーケットを通過型から滞在型の開催に転換してほしい。

町長はこうした取り組みをどう捉えているのか。またローカル会議を住民の気持ちに沿った会議にしてほしい。

答 地権者で構成されるローカル会議は、地元住民と具体的な協議を行う場として令和5年度に発足された。令和6年度の参加地権者は対象地権者48人に対し22人であった。毎回テーマを決めてワークショップ形式で実施され、自由な意見が出て活発な議論がされている。

地権者同士が直接顔を合わせることで、今後のまちづくり活動が円滑に進むことが予想される。

ソフト面では、マーケットの開催により駅周辺の魅力の発信に一定の効果があつたと思う。今後は町の主催イベントだけにないよう来場者が一定時間過ごせる滞在型の開催も検討していく。

ハード面では、神保原停車場線の具体的な拡幅計画を示さなければ、地元のライフプランが進まない事は承知している。引き続き管理者である埼玉県と意見交換し、事業化に向けた協議を進めていく。また、町では、今年度「神保原駅北東通り線」の設計に着手した。



和田山トイ再生グループの皆さん



一般質問

新井 實

問 上里町の労務災害の対応と対策は

答 就業者の安全管理に対応していきたい

質問 1 高齢者の労災について

問 上里町シルバー人材センターの労災対応及び今後の労働政策は。また、上里町の労務災害の対応と対策は。

答 上里町シルバー人材センターでは危険な業務は引き受けずに会員の安全を徹底している。また日頃から安全な技術向上に努力し、会員の安全就業の意識も高めている。

町では高齢者が安心して働ける社会をつくっていかねければならないと実感しており、役場職員の雇用者という立場から、就業者の安全管理にしっかりと対応していきたい。

質問 2 上里町観光協会の設立とその意義について

問 どこが運営主体になつて、どのような基本計画を策定し、政府が掲げる第4次観光立国推進基本計画に沿って目標を設定し、事業推進を図ろうとしているのか、また今後の方針について聞きたい。

答 町と観光協会が主体となり、地元の実業者や住民と一緒に観光・物産の調査・研究、地域資源の発掘・磨き上げ、情報収集・発信、観光客誘致など推進していく。また、町の観光基本計画については、国・県の動向を注視し、地域特性を生かした計画の策定に向け、地元の実業者や住民の声を聞きながら進めていく。

質問 3 日本経済における最低賃金について

問 町長は自治体のトップとして、また地域経済の一端を担う人として、上里町や地域の企業の賃金の在り方の改革について、どのように考えているか。

答 最低賃金の決定は国や県の手続きを経て決められるものだが、賃金の在り方については地域経済の活性化等に影響を与えるものである。町として最低賃金に対する啓発や周知を進める。

質問 4 災害対応に「福祉的支援」の必要性について

問 いつ起きるか分からない大規模災害における避難所のトイレ問題解消に向け、上里町でも早急にトイレトラックの導入をすべきでは。

答 避難所運営や被災地への派遣体制、平時においてのイベント活用や維持管理の方法など、県内及び近隣自治体の動向や導入自治体の状況を調査し、導入の可能性について検討する。

質問 5 「もうかる農業」の実現について

問 もうかる農業を目指した1次産業の生産、2次産業の加工、3次産業の販売を掛け合わせて一体的に行う6次産業化の推進における町の今後の政策及び施策は。

答 6次化製品上里ブランドと位置づけ、魅力ある農産加工品として多くの人々に知ってもらうため、地域資源の活用方法や販路の確保を含めた地域システムの構築が必要である。

質問 6 全国学力テストの結果について

問 全国学力テストの結果で中学生の国語の平均正答率が過去最低となり、読む技能が必要な問題や記述式を苦手とする傾向が浮かび上がった。SNSなどの影響で子どもたちの読解力が低下しているおそれがあるが、これを機に課題等を検証し、活字離れを食い止める対応と対策をすべきでは。

答 教育長 これからの未来をつくる子どもたちに社会に出てからの必要な力をつけさせるには、学習用P C端末の活用はとても重要であると考えており、町で進めている学び合い学習の中で、児童・生徒同士の関わり合いに重きを置いた協働学習を進めていきながら、学習用P C端末を効果的に活用し、読み書きの指導を充実させるよう授業改善に取り組んでいく。





一般質問

石井 慎也

問

生活支援としてお米を配布してはどうか

答

前向きに検討していく

質問 1
子育て支援について

問 育ち盛りの子供たちはよく食べるのでお米の消費も早く、物価高の影響をより受けていると考えられる。町は以前に生活支援として商品券を配ったが使い方によつてはすぐになくなつてしまう。お米は商品券とは違い何日にもわたり家計を助け、直接子供たちのエネルギーになる。

答 子育て世帯への生活支援として上里産のお米を配布してはどうか。

答 子育て世帯への家計支援として、また上里産のお米の消費による農業振興及び農産物の地産地消等のメリットも考えられる。

上里町の子供たちには上里産米を食べて元気に活動してもらいたいと考えており、事業実施について前向きに検討していく。

問 上里町へ転入してきた方に対してもお米の配布を行えば、町のお米のPRになるが検討してはどうか。

質問 2
ふるさと納税について

問 ふるさと納税の返礼品に関するルールの変更が行われたことにより寄附金が減少している。お米は保存もきくのでふるさと納税の返礼品として人気がある。上里産のお米を町のふるさと納税の返礼品リストに入れることを検討してはどうか。

答 ふるさと納税に係る返礼品については地域の特産品やサービスをより多くの人に紹介することにより、地域のブランド力の向上と併せて、観光客の増加や地域への移住、Uターン、Iターンを促進する効果も期待できる。

埼玉ひびきの農協と返礼品の登録について調整中である。



上里産米

質問 3
かみさと郷土かるたについて

問 かみさと郷土かるたは作成から34年が経過し、今ではなくなつてしまった施設や事業がある。時代に合った新しいかるたを作つてはどうか。

答 教育長 現在ではなくなつてしまつていても当時の上里を残す貴重な資料として、小学生の教材で扱われるなど歴史的価値があることや読み札、絵札には作品を応募してくれた方々の郷土への思い入れがあることから、多くの方々よりご意見を頂きながら引き続き協議していききたい。

問 全てを変えるのは大変だと思うので一部を変えるのはどうか。

答 教育長 変更内容や時期を含めて検討を進めていきたい。

質問 4
デジタル連絡ツールについて

問 小中学校の欠席連絡はQRコードの読み取りを行

い、 구글フォームから連絡を入れている。マチコミアプリから直接連絡できたら大変便利だと思うが一本化はできないのか。

答 教育長 上里町で活用しているマチコミの無料プランでは、お休み連絡等の個人情報にセキュリティ上の検討が必要である。セキュリティ対策を確立した有料プランでの活用は保護者の負担等も含め検討を続けていききたい。

問 保護者のマチコミアプリの導入率は。

答 教育長 100%である。

問 アプリケーションを活用すれば紙の通知を配らなくてもよいのではないか。

答 教育長 少しずつ紙は減らしていくが、保護者の中には紙でもらえないかという方もいるので対応はしている。





一般質問

植原 育雄

問 四ツ谷交差点改良について

答 町喫緊の課題スピード感にて取り組む

1 古新田・四ツ谷線の四ツ谷交差点改良について

問 四ツ谷交差点の現状は。

答 この丁字路の交差点は、四ツ谷交差点から近接して、通勤や帰宅の時間帯には交通渋滞の発生や周辺での交通事故も起きていて危険な状態である。

問 四ツ谷交差点改良に伴う都市計画変更の進捗状況は。

答 都市計画変更の内容は、都市計画道路上里町中央通り線から神保原堤線までの区間を廃止し、終点を神保原堤線の四ツ谷交差点とするため一部ルートや幅員等を変更するもので、現道の付け替えを行いながら現在の五差路から四差路の交差点へ改良するもので、都市計画変更の今後のスケジュールについては、後日開催の全員協議会で説明する。

問 四ツ谷交差点改良の総建設費見込みと今後の見通しは。

答 四ツ谷交差点改良を含む古新田・四ツ谷線整備に関わる事業費は、今後、路

線測量や詳細設計等、各種調査の実施により算出することになる。当該路線の改良は、当町の喫緊の課題として、町内で進めている他の道路整備の進捗状況を踏まえ、スピード感を持って取り組んで行きたい。



危険な丁字路(四ツ谷交差点近く)

2 ウニクス交差点の定周期式信号機設置について

問 ウニクス交差点の定周期式信号機設置の町の考え方は。

答 信号機設置には幾つかの課題があり、その課題をクリアしないと設置は困難である。具体的には出入口を公道が交わる交差点として整備する必要がある、ウ

ニクス上里駐車場側へ公道の建設並びに南側は道路幅員の拡幅等が定周期式信号機設置の物理的要件で、物理的要件を整えても、信号機設置指針の交通量や交通事故の発生状況等に該当する必要がある。

今年の4月に本庄警察署と物理的要件の緩和の可能性等協議した。

6月には南側の更地について所有者と町道拡幅について協議した結果、前向きな回答を得たので来年度、用地交渉に向け準備をしたい。

7月にはウニクス上里を運営する企業と再度協議したが、土地の形状変更が非常に困難であることに変わりはないとのこと。5月30日には本庄警察署長宛に大字嘉美の区長より、計750名署名の要望書が提出された。

町としても長年の懸案事項で、定周期式信号機設置に向け取り組んで行きたい。

3 学校給食費無償化の早期実現について

問 学校給食費無償化の費用対効果は。

答 給食費完全無償化の概算費用は、対象者2185名で給食費総額1億600万円である。就学援助等の他制度支援額が約1700万円あり、町の負担額は約8900万円となる。

保育料完全無償化と給食費完全無償化は性質が異なり比較は難しい。

問 子どもがきちっと給食を食べられる制度は。

答 教育長 学校では学校給食費等の納入が遅れたり、未納が続く場合は就学援助の申請を促したり、援助が必要と思われる家庭へ声掛けを行っている。

問 学校給食費無償化の早期実現の可能性は。

答 完全無償化を実現するには、限られた予算から費用を捻出する必要がある、完全無償化に伴うメリット、デメリットを検証、検討し、今後も施策実施の費用対効果を念頭に置き、優先度を考慮し取り組んで行きたい。



一般質問

沓澤 幸子

問 民間商業施設を活用した室内公園を

答 町全体に広がれば嬉しい

1 子育て支援と教育環境について

問 幼少期の遊びの中での動きや体の使い方は、筋肉や心肺機能、骨の形成などに影響を与える。猛暑の夏季でも思い切って遊べる環境として、児童館の遊具の見直し、民間商業施設を活用した室内公園、学校の余裕教室に遊具設置ができないか。

答 児童館は複合化や計画改修を進める中で、遊具等の更新を図り充実を図っていく。商業施設側の意向や利用者の需要を把握し、可能性を検討したい。

答 教育長 教室は安全確保など課題があり考えていない。

問 遊具の検討には子供の意見表明権を取り入れるは。商業施設の遊び場を広げるため町の援助を。

答 希望する遊具を入れるのは大事だと思う。町が資金面も含め、連携してこういう場が町全体に広がれば嬉しい。



問 中学校体育館のエアコン整備に続き小学校も早急な設置計画を。

答 教育長 町の財政状況や他の事業との優先度を勘案し検討している。

問 洋式化率が低い学校トイレは「公共施設再配置維持保全計画」とは別に洋式化計画を。

答 教育長 「公共施設再配置維持保全計画」と調整を図りながら検討したい。

問 ①学校プールは防火水槽の役割もあるが、水が汚れ不衛生である。民間委託した小学校等のプールの今後の管理方法は。

答 今後もプールを使用していく上里東小学校と七本木小学校は、体を守る簡易的な屋根設置が必要では。

③ 警視庁は、過去10年間で中学生以下の子の水難事故

死等が329人と発表。中学校の水泳授業は必要ではないか。首長間の検討経過は。

答 教育長 ①プールは防火水槽の役割を兼ねており貯水状態を維持し、必要に応じ清掃業務委託を検討する。

②2校も事業者と調整がつき次第委託に切り替えたい。

町長 ③管理者会議で本庄市長から広域圏でプールを造ろうという話は出てくる。今後、議論を深めていきたい。

問 学校の児童生徒の清掃活動は世界では少数である。特にトイレ清掃は難しい。児童生徒と環境整備として大人が行う範囲を検討し、定期的な業者清掃も実施し、毎日清掃を見直し、遊び時間を確保する考えは。

答 教育長 予算や子ども達が清掃する意義を踏まえ、実施の可否について検討する。

問 国民健康保険税均等割は、子どもの人数が増え、子育てペナルティ状況であ

る。子どもの均等割を子育て支援として給付し軽減を図る考えは。

答 子どもの均等割免除は、慎重に検討していきたい。メリットなども含め確認したい。

2 物価高騰対策について

問 物価高騰が止まらず、食料品の値上げが生活を苦しめている。水道料の軽減で町民支援と、完全無償化を望むが、緊急対策としての無償化の考えは。

答 物価高騰が進み町民や事業者の経済生活に大きな影響が生じていると認識している。現状では新たな国の交付金の予定はないが、社会経済の動向を見極め、総合的に判断して全町民に支援の手が届く効果的な支援策が出来るよう検討したい。

※住民の健康を守る対策として、新型コロナウイルス感染症と生活保護世帯のエアコン整備についても質問しました。



一般質問

飯塚 賢治

問 トイレトレーラーの導入について

答 導入の方向で検討する

1 子どもにやさしいまちづくり事業の推進について

問 子どもの権利についての教育や啓発活動の積極的な推進には、町の子ども達が自分の権利を理解し、自分で自分の権利を守るための行動を促す社会環境の整備が大事である。子どもにやさしいまちづくり宣言の制度や庁内連携会議の取り組み等積極的に推進すべきではないか。

答 町がやさしいまちづくり宣言を行うには、相応の人員、時間、予算等が必要となるが、すでに先行しているニセコ町の子育て担当者や教育委員会等、取組を進めている方との連携でやさしい町づくり宣言の実施方向で進めたい。

答 教育長 教職員においてユニセフCAREハンドブック、子どもの権利条約を学級経営に生かそうと子どもと先生でつくる、みんなが尊重される学校も参考に取り入れ、子どもの権利を大切にする教育を図つ

ている。今後も子どもの権利を大切にする教育が高められるよう、鋭意努力していく。

問 子どものための事業の方針を決める際に当事者である子ども達が積極的に議論に参加できる仕組みや制度を整備することは、大変に有意義であると考えているが。

答 こども家庭庁が進める、こどもまんなか応援サポーターへの賛同を表明することを検討したい。町づくりの様々な場面で、子どもが積極的に参加できる取組を推進する。

2 災害時用の移動式水洗トイレ、トイレトレーラーの導入について

問 約3万人が避難所に身を寄せる被災地、能登半島に全国市町からトイレトレーラーが集まった。一般社団法人助けあいジャパンが進める災害派遣トイレネットワークプロジェクト、みんな元気になるトイレによる派遣である。4つの個室、水洗でシャワー付、

手洗いシンク、鏡、照明とポンプは太陽光パネル、夜でも明るく安心で使用できると大変評判がよかった。被災地にいつなってもおかしくない中で、お互いの助け合いは絶対に必要であるが、トイレトレーラーの導入について伺う。

答 被災地へ従事した職員からの報告で、断水の中で排泄物がそのままになっていた現状や給水活動の内容、衛生的なトイレトレーラーの設置状況等があった。

多くの自治体職員が被災地に集まり、助け合う重要性を再確認したとの感想があった。平時においてイベントの活用や維持管理の方法など他の自治体の導入状況を調査して、導入の方向で検討する。



トイレトレーラー

3 聴覚補助器等の積極的な活用への支援について

問 実際、高齢者が難聴になると人や社会とのコミュニケーションを避けがちになり、社会的に孤立する可能性も高くなり、また、認知症発症のリスクも高まる。聴覚補助器を必要とする方々への情報提供の機会や補助器等のお試し利用ができる場所の整備等提案したい。また、補助制度の創設についても伺う。

答 難聴への早期対応は、高齢者がいきいきと生活することへの一助と考える。聞こえに関する講座や補助器等の体験会の開催について検討しつつ、購入費補助を含めた有効な支援について考える。

※その他、リチウム蓄電池等の小型充電式電池の拠点回収について質問しました。



一般質問

齊藤 崇

問 小・中学校の猛暑対策は

答 運動会・体育祭は10月に変更

1 町民からの各種要望書について

問 行政区長等から提出されている要望書が数年前から積滞している。毎年度20件程度寄せられているが、半分程度しか要望に応えられていないため、また積滞も増えていく。この現状はどう対処していくのか。

答 過去3年度分の受付件数は合計259件で要望内容は多岐にわたる。内訳としては道路関連が63件、防犯灯49件、カーブミラー39件、交通安全対策などその他が108件。要望内容の状況により対応方法は異なるが、担当課において優先順位をつけ、順次対応している。

道路整備に関わる要望については時間と多くの工事費を要することから、対応は翌年度以降になるもので、受理した時点でその旨を区長等に伝えている。令和6年3月末現在未対応の要望案件は132件である。

問 要望書を受理した時点

での一次対応について、以前は年月日、提出者名等を確認しただけと聞いているが。

答 今後、要望書の受理時に一次対応が必要なものについては、担当課から回答させていただく旨を提出者に伝え、おおむねの時期等一定期間内に提示できるように、その方法について検討していく。

2 諸改革について

問 町独自の行事や事業で、真夏や真冬の屋外開催は、開催時間、時期を変更し、実施者、参加者双方の熱中症等の健康面を考慮すべきでは。

また、事業等の年間計画についても、社会の変動や危機に対応し、町民に対するサービス向上に向け、行政改革をさらに前進させるために見直してみても。

答 世界規模で異常気象が頻発している。日本でも例外でなく各地で災害級の暑さが発生。

今年度は8月3日に防災フェスティバルを昨年度と同じイオンタウン上里で開催した。会場面では堤調節池よりも条件が良く、町民に対して防災意識向上の機会を確実に捉えられるように現在の会場とした。開催時間も1時間早め、暑さ対策としてスポットクーラーを設置して開催した。

年間行事については、目的及び趣旨を常に意識して効果が最大限発揮できる内容、方法、時期について十分に検討している。



防災フェスティバル

問 学校行事の改革も不可欠である。

児童・生徒それに教師において熱中症や感染症等の

健康面が心配である。時期等改革を断行してはどうか。

答 教育長 現在、町内の小中学校では熱中症対策の一つとして行事の日時や内容の見直しを図っている。

一例をあげると、運動会、体育祭は10月中旬から下旬に実施を予定している。また、練習においても10月から開始にした。

3 下水道終末処理場予定跡地について

問 現在の進捗について、また町は今後どのようにしていく考えなのか。

答 この土地は地域の方々に協力をしてもらい整備を行った経緯もあったが、協力者への負担が大きく断念。今、町としては所有者として公共性を保ちながら暫定的な利活用をしている。

公共施設の建設を目的に農振除外をしたため、産業振興、地域福祉、防災機能など公共性のある事業を柱に、道の駅を含めた有効活用の検討を進めていきたい。

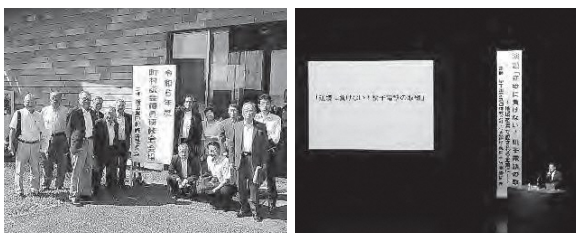
町村議会議員研修会

日付:10月2日(水)

会場:吉見町民会館「フレサよしみ」

演題:「逆境に負けない! 銚子電鉄の取組」
～地域密着で愛される企業に

講師:銚子電鉄株式会社
代表取締役/税理士 竹本勝紀 氏



研修当日はまだまだ日差しが暑い日でした。

今回の研修会は、全長 6.4km の間に 10 駅あるとても駅間が短い鉄道会社を再生する話です。人口 5 万 5 千人の銚子市、銚子半島犬吠崎などがある風光明媚な場所を走る鉄道です。速度 40km で自転車より遅く、歩くより少し速い、緑のトンネルがあり森林浴が楽しめるローカル線ですが、経営状況

は電車屋なのに自転車操業。しかも工務店の親会社が倒産し、存続が危ぶまれる所まで追い込まれました。そのような時に社員が起死回生の一手を打ったのが、ぬれ煎餅の製造販売でした。焼いては壊しを繰り返して、それを社員が昼食にしたりして取組んだ結果、遂に完成し販売まで辿り着きました。

だんだん軌道に乗り、テレビで紹介され、さらに売上げが伸びていきます。本業の鉄道業では今度は車輛の検査費用をどう捻出するかという悩みが出てきました。社員の一人が SNS を使って「電車の修理代を稼がなくちゃいけないんです。ぬれ煎餅を買ってください。」と悲痛なるメッセージを投稿すると奇跡にも全国から 1 万人の方が反応し、売上げが倍増、デジタルの世界の向こう側にアナログの温かい心がありました。社員一丸となって絶対にあきらめないで行動すること、どこかに突破口があると信じその突破口をさがすこと、その覚悟が大事なんですと話されました。竹本社長曰く「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が残るものでもない。唯一生き残る者は変化できる者である。」と窮地に追い込まれて、そこから這い上がった方の重みのある言葉です。大変ためになる研修でした。ありがとう銚子電鉄。

飯塚賢治

議会運営委員会

委員会
レポート

日付:11月6日(水)

視察先:群馬県千代田町



1. 開催場所時間

群馬県邑楽町千代田町役場 13 時 30 分～

2. 参加者

上里町議会運営委員会 6 名、千代田町町長他 12 名

3. 議会基本条例、議会災害対応、団体との意見交換会の 3 点について質問しました。

質問 1 上里町議会では毎年基本条例を検証していますが、千代田町では検証は毎年行わず、見直しが必要な場合はその都度全員協議会で協議するとありますが、今まで見直しをしたことはありますか。

回答 1 最近では令和 3 年に災害時の議会对応を追加する際に条文の見直しをしました。それ以外に変更・見直しはありません。基本条例の見直しはしていませんが、特別委員会は月 1 回開催して意見交換会などについて話し合っています。

質問 2 議会報告会の会場はその都度変更しているのですか。参加者は何人ですか。

回答 2 参加者の想定により会場を選定しています。参加者は年 1 回の時は 75 名程度で、年 2 回の時は 1 回 30 名程度です。

質問 3 町民への周知等はどうな方法でしていますか。

回答 3 議会紙や町広報、回覧、毎戸配布、町 HP での案内と体育祭産業祭などの挨拶で周知し、また議員が会場でチラシを配ることで周知しています。

質問 4 ふるさと納税額が予算で 10 億 8 千万円と大きいですが、返礼品にはどんなものがありますか。

回答 4 サントリー製品が主です。令和 5 年度は 30 億円で群馬県では 3 年連続 1 位です。

もっと質問を続けたかったのですが、終了時間のため終わってしまいましたが、大変有意義な視察研修でした。千代田町議会と町職員の皆様においては、暖かい歓迎のセレモニーと丁寧なご回答に感謝申し上げます。ありがとうございます。

猪岡壽

議会広報広聴常任委員会

委員会
レポート

「議会広報研修会」

日付:11月1日(金)

会場:埼玉県県民健康センター

1階 大会議室C

講師:一般社団法人

埼玉県コミュニケーションセンター

理事長 芳野政明氏

委員長をはじめ6名が出席をしました。今年度のテーマは議会の見える化&住民の信頼・認知でした。

冒頭、自治体議会の信頼性や存在感が問われ、地方議会の投票率の低下やなり手不足の傾向、自分の町の議員が何をしているのか知らず、議会が生活の役に立っている実感もない、議会の役割や機能を知らないとい

いう現状、議会報告会や意見交換会が一時期より低調であり、議会改革と広報改革、政策活動の持続的な追及が期待されるとの指摘を受けました。『読まれない議会だよりに出す意味なし』との編集方針を掲げている議会もあり、言葉は乱暴に聞こえますがまさにその通りだと思いました。

最近の議会だよりの傾向は登場住民の人数を増やし、インパクトのある表紙を使ったりあまり固くない分かり易い編集になっていると思います。上里町議会においても3月の表紙から委員が現場に赴きカメラを回しインタビューをしています。様々な他の自治体の議会だよりに目を通し、良いものは研究をしながら導入していきたいものです。

戸矢隆光



文教厚生常任委員会

委員会
レポート

日付:11月7日(木)

視察先:松伏町

午前は外前野記念館で「ご近所さん体操サポーター養成講座」を視察。町内高齢者が主体となり、手首足首に重りを巻きゆっくり動かす簡単な体操。介護予防やフレイル予防、閉じこもり防止、地域コミュニティの活性化が図られると説明を受けました。これはまさしく本町の「こむぎっちちよっくら健康体操」と受け止めました。

一連の説明の後、課題点をいくつか質疑応答。継続のための秘訣、サポーターの人数や年齢、サポーターや行政の役割分担等。継続には体操の他にお茶、お喋り、雰囲気づくりが大切と言っていました。サポーターは約30名で30代から70代で70代が最も多く、参加者の把握や名簿・備品の管理、町・社協とのパイプ役、介護保険や介護予防についての情報発信と結構多忙と説明を受けました。

その後、サポーターを養成している現場に行き、新たにサポーターを目指す養成者と一緒に途中まで講座を受講しました。健康寿命を延ばすために体操に取り組みたいと思いました。

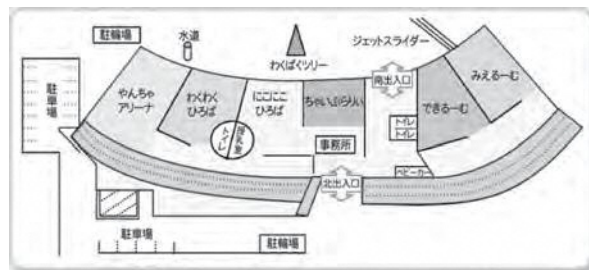
齊藤崇

午後は児童館の「ちびっ子らんど」を視察。平成13年に町内1カ所の児童館として建設。総床面積は783.38㎡。運営は社会福祉協議会への委託後、平成24年度から公募でシダックス大新東ヒューマンサービス(株)に変更。年間指定管理費は3773万円。

洞窟をイメージした建物ですが、プレイルームは南向きで各コーナーが行き来できる開放的な造り。他に工作室と視聴覚室がありました。庭の遊具は屋根から滑るジェットスライダーと網のわんぱくツリー。

休館日は第1月曜と年末年始のみで、小学生は土日の利用が多く、令和5年度利用者は3万9000人。冷蔵庫ロッカーが買い物帰りの利用者に喜ばれています。利用者の希望で提供できるように、遊具などの写真を貼る工夫も見られました。

沓澤幸子



9月

- 4日 定例会開会、町長の行政報告等、一般質問
5日 一般質問
6日 全員協議会
9日 議案審議
(条例改正、補正予算、決算総括説明)
10日 議案審議(決算審査意見書報告、
総括質疑、委員会付託)
12日～26日 決算特別委員会(令和5年度決算審査)
30日 児玉郡市広域市町村圏組合議会

10月

- 2日 埼玉県町村議会議員研修会
3日 全員協議会、特別委員長決算報告等、
請願等審査報告、閉会
16日 議会広報聴常任委員会
30日 児玉郡議長会行政視察

11月

- 1日 議会広報研修会
5日 全員協議会
6日 議会運営委員会視察研修
7日 文教厚生常任委員会視察研修
10日 かみさとふれあいまつり
14日 議会広報広聴常任委員会
15日 議会運営委員会
21日 上里町懇話会
26日 議会広報広聴常任委員会視察研修

集 編
記 後


 気温が高い
 日が続まし
 たが季節はあつ
 と言う間に進
 み冬の便りが
 届く頃となりました。今年
 は議会だよりに親しみを
 もって頂ける取組の一つと
 して、公民館利用団体の方々
 に議会だよりの表紙を飾つ
 て頂きました。恥ずかしい
 と仰いながらも撮影にご協
 力頂き誠にありがとうございます。

いました。議会との距離が少しでも近くなったと感じて頂ければ幸いです。また、令和7年1月には意見交換会ならびに議会報告会が開催されます。今回は各地区の公民館に議員が出向していく形式で行います。意見交換会で頂いたご意見を議会運営に活かしていければと思いますので、大勢のご参加をお待ちしております。

戸矢隆光

金子 義則

石井慎也

榎原 育雄

高村 伸

委員長

云
廣
報
廣
聽

戸矢隆光

金子 義則

石井慎也

榎原 育雄

高村 伸

委員長

云
廣
報
廣
聽

第6回12月定例会の日程(予定)

日 月 火 水 木 金 土

12/1	2	3	4	5	6	7
				(開会) 一般質問	一般質問	
8	9	10	11	12	13	14
		議案審議	常任委員会	常任委員会	(閉会) 報告・採決	

※開会は原則午前９時です。午前中で議事が終了しない場合は、午後の再開は１時３０分です。（時間に変更になることがあります。）
※議事の進行上、休憩が入る場合があります。
※定例会及び各委員会は、傍聴可能です。

第6回12月定例会一般質問一覧

	氏 名	質 問 事 項
5日(木)	金子 義 則	①役場職員に対するカスタマーハラスメントについて ②朝夕の通勤通学時に於ける渋滞緩和対策について ③物価高騰における対策について
	沓 澤 幸 子	①デジタル教科書について ②放課後児童健全育成事業について ③子ども誰でも通園制度について ④高齢者福祉について ⑤駅北まちづくり事業について
	石 井 慎 也	①情報発信について ②水路法面の活用について ③体育館の利用について ④防犯カメラの設置について ⑤避雷器について
	猪 岡 壽	①消火栓を使用しての放水訓練についての課題 ②工業団地誘致について
	戸 矢 隆 光	①保健センター・老人福祉センターを含めた周辺跡地について ②事業の進捗状況について ③事業の円滑な進め方について ④稲作について
6日(金)	高 橋 勝 利	①上里町は少子高齢化を防げるのか ②土地改良区事業決算委員会議論について ③保育料の完全無償化が実現し半年が経過したことについて
	飯 塚 賢 治	①婚姻届の記入例について ②医療的ケア児支援センターの状況について ③G I G A スクール端末の更新について ④国の防災計画修正について
	伊 藤 覚	①上里町のハラスメント対策について ②上里町デマンド交通の児童の利用について
	齊 藤 崇	①人生100年時代について ②中学校の部活動について ③令和6年度新規事業について

お知らせ

お知らせ 「意見交換会」ならびに「議会報告会」を開催します。議会・町政に対して普段感じていることなど、皆様からのご意見をお聞かせください。申し込みは不要です。当日会場までお越しください。

日時・場所…

令和 7 年 1 月 18 日(土) 13:30 ～ 長幡、賀美、神保原公民館
令和 7 年 1 月 25 日(土) 13:30 ～ 七本木、上里東公民館
内容…定例会・臨時会の概要等、意見交換